

## 三重県高体連ソフトボール競技 新人大会

兼東海地域高等学校男子ソフトボール新人大会県予選会 兼全国高等学校男子ソフトボール選抜大会県予選会

第1日 2018年 10月 27日 (土)

開催地： 三重県 亀山市

### 《1回戦》

球場名： 東野公園ソフトボール場

No. 1

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	試合時間1:17	計	(球審)	
三重県立松阪高等学校	0	1	0	1	0			5回コールド	安打	2	(一塁) 谷岡 道人
三重高等学校	5	1	0	4	X				安打	10	(二塁) 古川 良一 (三塁) 草河 元敦 (記録) 新山 大輝 植森 郁夫

(バッテリー) [勝:○, 負:●] 先攻 (投) ●岡田 育真, 北井 貴一朗 --- (捕) 高倉 伊織  
 後攻 (投) ○鈴木 惇平 --- (捕) 谷村 涼介

先攻 (本塁打) \_\_\_\_\_ (三塁打) \_\_\_\_\_  
 (長打) (二塁打) \_\_\_\_\_

後攻 (本塁打) \_\_\_\_\_ (三塁打) \_\_\_\_\_  
 (二塁打) 大西 章仁, 山中 幹太, 吉崎 太一

(特出記録) \_\_\_\_\_

### 《準決勝》

球場名： 東野公園ソフトボール場

No. 2

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	試合時間1:00	計	(球審)	
三重県立稲生高等学校	0	0	0					3回コールド	安打	0	(一塁) 中村 公彦
三重県立四日市工業高等学校	10	1	4x						安打	15	(二塁) 米川 宗太郎 (三塁) 古川 良一 (記録) 草河 元敦 大堀 廣治

(バッテリー) [勝:○, 負:●] 先攻 (投) ●神谷 宗一郎 --- (捕) 木村 章吾, 山下 響生  
 後攻 (投) ○山田 昂輝, 前田 倫吾 --- (捕) 真弓 隼輔

先攻 (本塁打) \_\_\_\_\_ (三塁打) \_\_\_\_\_  
 (長打) (二塁打) \_\_\_\_\_

後攻 (本塁打) \_\_\_\_\_ (三塁打) \_\_\_\_\_  
 (二塁打) 佐野 晃基, 前田 倫吾

(特出記録) \_\_\_\_\_

### 《準決勝》

球場名： 東野公園ソフトボール場

No. 3

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	試合時間1:25	計	(球審)	
津西高等学校	0	0	0					3回コールド	安打	0	(一塁) 新山 大輝
三重高等学校	18	2	X						安打	20	(二塁) 谷岡 道人 (三塁) 米川 宗太郎 (記録) 中村 公彦 植森 郁夫

(バッテリー) [勝:○, 負:●] 先攻 (投) ●川口 瑞希, 花村 勇佑 --- (捕) 児玉 知樹, 川口 瑞希  
 後攻 (投) ○鈴木 惇平, 瀬口 佳活 --- (捕) 谷村 涼介, 鈴木 惇平

先攻 (本塁打) \_\_\_\_\_ (三塁打) \_\_\_\_\_  
 (長打) (二塁打) \_\_\_\_\_

後攻 (本塁打) \_\_\_\_\_ (三塁打) \_\_\_\_\_  
 (二塁打) 鈴木 惇平

(特出記録) \_\_\_\_\_

## 三重県高体連ソフトボール競技 新人大会

兼東海地域高等学校男子ソフトボール新人大会県予選会 兼全国高等学校男子ソフトボール選抜大会県予選会

第1日 2018年 10月 27日 (土)

開催地： 三重県 亀山市

《決勝》

球場名： 東野公園ソフトボール場

No. 4

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	試合時間1:20	計	(球審)	
三重県立四日市工業高等学校	2	0	4	1	1			5回コールド	安打 8	8	(一塁) 三谷 菜月 (二塁) 谷岡 道人 (三塁) 草川 輝昭
三重高等学校	0	0	0	0	0				安打 5	0	(記録) 古川 良一 植森 郁夫

(バッテリー) [勝:○, 負:●]

先攻 (投) ○山田 昂輝 --- (捕) 真弓 隼輔  
 後攻 (投) ●鈴木 惇平 --- (捕) 谷村 涼介

先攻 (本塁打) \_\_\_\_\_ (三塁打) 山本 祐輔, 宮本 尚弥  
 (長打) (二塁打) \_\_\_\_\_

後攻 (本塁打) \_\_\_\_\_ (三塁打) \_\_\_\_\_  
 (二塁打) 山本 圭亮

(特出記録)

### 【決勝戦評】 三重県立四日市工業高等学校 2年連続完全優勝！

三重県立四日市工業高等学校が2年連続で春季大会・県総体・秋季大会・新人大会を制した。初回、二死後3番真弓隼輔が四球を選ぶとすかさず二盗。エラーを誘い先制すると、4番宮本尚弥も一二塁間安打で出塁後二盗・三盗を決め、エラーで生還。3回には1番山本祐輔の右中間三塁打を皮切りに3番真弓の中前2点タイムリー、4番宮本のレフト線タイムリー三塁打などで一挙に4点を奪い突き放し、4・5回も押し出し・暴投などで追加点を挙げ5回コールドで3月の全国大会への出場権を獲得した。

三重高校は1・2回戦合計30得点で勝ち上がり決勝に挑んだが、初回2番山本圭亮の二塁打・3番橋本悠矢の中前安打で掴んだ一死一三塁のチャンスにあと一本出ず敗退した。